

建築計画（建築類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 3年（選択）
使用教科書	建築計画（実教出版）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「建築計画」はこんな科目です

建築に関する基礎的な知識を学ぶための科目。建築物の特徴を学び、住宅や集合住宅、事務所などの建築物を計画するために必要な諸条件を知り、快適で便利な空間とは何かを学ぶ。

「建築計画」の学習の特徴

快適な住空間を設計するために必要なことを学習し、建築設計の基礎を学ぶ。また、建築物の目的を把握し、敷地、配置、平面、構造、設備などの全体的な計画を行ううえでの基本事項について学ぶ。

「建築計画」で大切なこと（留意点）

授業中の話を良く聞き、ノートにはイラストなどを描き分かりやすくまとめること。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第6章 建築物の移り変わり 1. 日本の建築	<ul style="list-style-type: none"> 古建築（西洋、東洋）の良さを知り、現代建築の素晴らしさを学習する。 日本の気候を理解して、建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について学び、室内の空気が、不快な状態にならないようにするための基本的な事項について学習する。
	5	2. 西洋の建築	
	6	3. 近代の建築 4. 現代の建築 〈中間考査〉	
	7	第1章 建築と環境 1. 建築と環境の概要 2. 屋外環境と室内環境 〈期末考査〉	
2 学 期	9	3. 換気と通風	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の各部分で起こる熱の移動のしくみを理解して、快適な室内気候を得る方法について学習する。 日照日射が、建築物に与える影響などについて学習する。 採光と照明について、基本事項を学習する。 音の性質を理解し、望ましい音響状態をつくり出す基本事項について学習する。 住宅の目的、種類を知り、住宅地の標準的な専用住宅を対象にして、敷地、配置、平面、構造、設備などの全体的な計画を行ううえでの基本事項について学習する。
	10	4. 伝熱と結露 5. 日照と日射 6. 採光と照明 8. 音響 〈中間考査〉	
	11	第2章 住宅の計画 1. 住宅の意義 2. 住宅計画の進め方	
	12	3. 全体計画 4. 各部の計画 〈期末考査〉	
3 学 期	1	第3章 各種建築物の計画 1. 集合住宅の計画	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅の目的、種類を知り、敷地、配置、平面、構造、設備などの全体的な計画を行ううえでの基本事項について学習する。
	2	2. 事務所の計画 3. 小学校の計画 〈学年末考査〉	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・忘れ物が無く、授業に向かう姿勢ができていますか。 ・建築計画の必要性を理解し、積極的に授業に参加できるかどうか。	・授業ノート記述 ・出欠席状況 ・授業態度
思考・判断・表現	・問題に対し正しく判断し、主体的に発言をすることができますか。	・授業中の発言
技能	・授業中の板書をノートに取り、重要なポイントなどをメモすることができますか。	・授業ノート記述
知識・理解	・建築計画の必要性を理解した上で考査に臨むことができますか。	・定期考査

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・授業態度
- ・授業中の発言
- ・ノートやプリントのまとめ方
- ・定期考査や小テストの結果
- ・課題等の提出状況、出来具合

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

建築物に興味を持ち、普段の授業を大切に受け、積極的に挙手や発言を行い、ノートやプリント・課題等にきちんと取り組むこと。提出物は見やすくまとめて期限内に提出すること。
知識を確認するために定期考査や小テストを行うが、意欲的に取り組むこと。